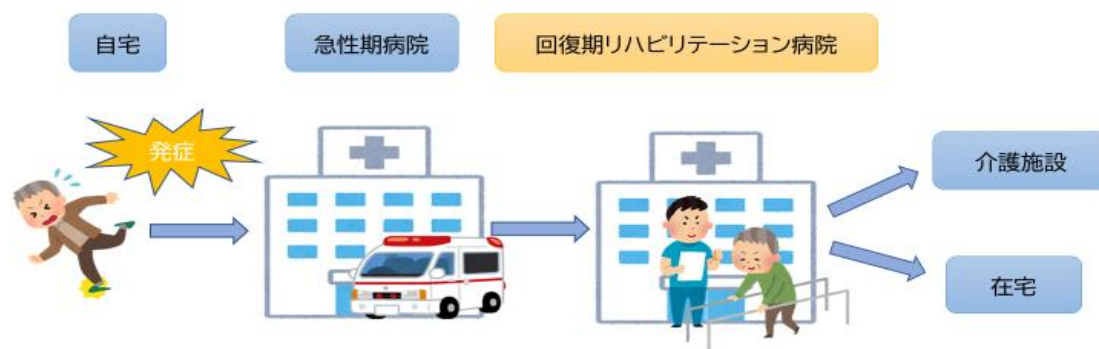


回復期病棟への入院を検討されている患者様、ご家族様へ

回復期リハビリテーション病棟とは

受傷から退院までの流れ

発症後、救急的な治療を行うため急性期病院へと搬送されます。その後回復期リハビリテーション病院へ転院し、自宅や施設への退院を目指したりハビリテーションを行っていきます。



回復期リハビリテーション病棟とは

《回復期リハビリテーション病棟の特色》

回復期とは、患者の容態が危機状態(急性期)から脱し、**身体機能の回復を図る時期**のことです。回復期リハビリテーション病棟は医師や看護師、リハビリスタッフなどの専門家が協力して日常生活を送れるように**個々の患者に合わせたリハビリ**を集中的に行うための専門病棟となります。また、回復期リハビリテーションは**365日毎日**リハビリを実施しています。

《入院できる疾患と入院期間》

回復期リハビリ病棟に入院できる疾患は決められており、それぞれに**期間の上限**があります。入院上限日数とは、怪我をした日からではなく、病院を受診し入院された日からとなります。

対象疾患	入院上限日数
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、脳腫瘍、腕神経叢損傷など脳や神経の病気	150日
高次脳機能障害を伴った 重症脳血管障害、重度の頸髄損傷、頭部外傷など	180日
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節、膝関節の骨折などの下肢・体幹の骨折	90日
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有している場合	90日
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節、膝関節の神経、筋、靭帯損傷後	60日
股関節の人工骨頭置換術、人工膝関節置換術などの置換術後	90日

上記の期間の中で、自宅退院を目指したりハビリテーションを行っていきます。